



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2013-2014年度 R I 会長 ロン D. パートン

●クラブテーマ「心を見つめよう」●



第2590地区 ガバナー 市川 緋佐磨

- 会 長 伊 東 英 紀
- 会長エレクト 山 田 正 憲
- 副 会 長 江 森 国 一
- 副 会 長 横 山 範 夫
- 幹 事 山 本 芳 弘
- 副 幹 事 植 田 清 司
- 会 計 朝 日 達 夫
- 副 会 計 須 永 久 一
- S A A 矢 野 修 二
- 副 S A A 小 山 市 康
- 副 S A A 石 川 正 三
- クラブ会報 佐 藤 勝 彦



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2013-2014年度 **第27週報** No. 1821 2014年(平成26年) 1月24日 第1821回例会記録 1月27日発行

司 会 植田 清司 副幹事

ビジター紹介

横浜 R.C 大西 晴之 様
 神奈川 R.C 天羽 栄作 様
 神奈川 R.C 金野 克佐 様
 横浜本牧 R.C 松村 俊幸 様

点 鐘 伊東 英紀 会長

誕生日祝 白井 康夫 会員 (2月1日)

斉 唱 「それでこそロータリー」



四つのテスト 伊澤 政宏 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

- 高橋 敏昭 様 (地区米山奨学金増進委員長)
- 石井 朗 様 (IMキャラバン隊)
- 益田 裕隆 様 (IMキャラバン隊)

本日〈1月27日〉のプログラム

神奈川 R.C・神奈川東 R.C 合同賀詞交歓会

結婚記念日祝

角田 伯雄 会員（1月28日）



会長報告

伊東 英紀 会長

- ・1月度定例理事会報告

幹事報告

山本 芳弘 幹事

- ・先週に引き続きR Iより2013年版手続要覧の購入申し込みが来ております。申込み書を回覧致しますので、購入を希望される方は氏名を明記願います。なお、価格につきましては1冊800円です。
- ・1月27日月曜日は神奈川R.Cとの合同賀詞交歓会です。点鐘は18:30となりますのでお間違えないようお願い致します。また、次週金曜が合同賀詞交歓会に振り替えとなっておりますのでお休みとなります。よろしくお願い致します。
- ・IM登録料を2月7日例会受付より徴収を開始致します。なお、徴収額につきましては、理事会報告にもありました通り全員登録で登録料2000円プラス書籍代1000円 計3000円となります。

出席報告

長井 章 出席委員長

会員総数	54名	(36+18)名	
出席会員数	43名	(29+14)名	
出席率	87.76%		
ゲスト	3名	ビジター	4名
前回補正後	87.76%	前々回補正後	95.56%

スマイルボックス

小山 市康 副SAA

地区米山奨学金増進委員会 委員長 高橋敏昭様（横浜本牧R.C）

本日は卓話の機会を頂き、感謝申し上げます。

横浜瀬谷R.C 石井 朗様、益田裕隆様 お世話になります。本日はIMの登録と参加のご案内に参りました。よろしくお願い致します。

横浜本牧R.C 松村俊幸様 初めてお伺いしました。よろしくお願い致します。

横浜R.C 大西晴之様 本日はお世話になります。

神奈川R.C 金野克佐様 お世話になります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

白井康夫君 お誕生日のお祝い、ありがとうございました。2月1日で45歳になりました。

角田伯雄君 結婚記念日祝い、ありがとうございました。今年で34年・・・。

伊東英紀君 ①高橋様、本日の卓話、よろしくお願い致します。②IMキャラバン隊でお越しの石井様、益田様、よろしくお願い申し上げます。

石川正三君 水曜、木曜と、夜お付き合い頂いた皆様に感謝。ご馳走様でした。

吉田隆男君 ①地区米山奨学金増進委員会委員長 高橋様、本日は卓話、よろしくお願い致します。②横浜瀬谷R.C 石井様、益田様、IMキャラバン隊お疲れ様です。

山本 登君 インフル、ノロ・・・ご注意。手洗い、うがい、マスク、加湿・・・。

山田富雄君 石川さん、月山さん、ご指導ありがとうございます。

山田正憲君 ①高橋敏昭米山奨学金増進委員長、本日はよろしくお願い致します。②山崎さん、NHKのオリンピックのニュースにちらっと映っていましたね。

天野公史君 高橋委員長、本日はお忙しいところ、ありがとうございます。

横溝 亘君 本日、所用により早退させていただきます。

茂木知子さん ~女性ホルモンゼロ~11月頃から気分が落ち込んでしまいました。同年代の女性から、自分も50代に気分が落ち込み、女性ホルモンを測ったらゼロ、女性ホルモンを投与してもらい気分を持ち直したので、是非、女性ホルモンの治療を受けるようにと勧められました。でも、私は60を越して、今さら女性ホルモンがゼロと言われてもまた気分が落ち込むだけだと思い、何もせずに今に至っています。

友添辰哉君 河野さん、会社の駐車場お借りしました。パーキング代です。ありがとうございました。

矢野修二君 石川さん、先日はありがとうございました。小山さん、お疲れ様でした。

小山市康君 先日は、SAA打合せ会、ありがとうございました。色々参考になりました。

1月24日	19件	56,000円
本年度累計		1,224,738円

「ロータリー米山記念奨学事業の価値と意味」

地区米山奨学金増進委員会 委員長 高橋 敏昭 様
(紹介者 吉田 隆男 会員)



ロータリー米山記念奨学生を選考を中心にパワーポイントを使いお話を致します。

「画面:公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 2012年度より正式名称」

日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉翁が創立したファンドと誤解を招くことから米山の後に記念を入れる。

「画面:日本のロータリー独自の多地区合同活動・日本最大で半世紀の歴史ある民間奨学事業」

クラブ単独事業として始まり、わずか5年で日本全国の事業になり1967年に(財)ロータリー米山記念奨学会が設立。国内最大の国際奨学事業で事業費は13.6億円。

「画面:日本のロータリーが世界に誇る日本と世界を繋ぐ架け橋育成のプログラムです」

将来、日本と世界を繋ぐ架け橋となり国際社会で活躍する人材育成で、ロータリーの目的「世界平和」推進プログラム。

「画面:米山記念奨学事業の価値は「どんな奨学生を採用したのか」で決まります。さらに、意味あることは「どんな奨学生に育てたか」「育ってくれたか」です」

米山記念奨学事業の価値はどんな奨学生を採用するかが重要で、地区の役割として選考。意味あることは、どんな奨学生に育てたか、育ってくれたかで、カウンセラー及び世話クラブ皆様の役割。

「画面:米山奨学生の選考は?」

募集方法・選考方法・選考基準・世話クラブの決め方のご説明。世話クラブの決め方は、今年度37名の米山奨学生の中、7名が2年

対象者で実質30名を61クラブにお願いするので単純計算でも2年に1回の割合。

「画面:募集方法は(21校の紹介)」

2590地区内にキャンパスがある大学21校に、採用奨学生数30名の約2倍を各大学の留学生数で案分した数で各大学に募集。

「画面:募集説明会」「ロータリーについて・米山記念奨学会と米山奨学制度について・募集と選考について」

募集説明会はロータリーの理念やロータリー米山記念奨学事業の目的に沿った相応しい留学生を選出してもらう重要なもの。

「画面:大学説明会用資料「目的①」

「画面:大学説明会用資料「目的②」の読み上げ。

「画面:選考方法は」

指定校で募集開始、学内選考(指導教員の推薦)、地区における資格審査、書類審査、面接試験、合否発表、オリエンテーション(確約書サイン)。

「画面:選考基準は」

ロータリー米山記念奨学会の使命に基づき、勉学意欲があり、人物面、学業面が優秀で、将来、日本との架け橋になりえる人材であること。

当地区の採用方針

- ①日本語での意思疎通の出来る学生
- ②将来母国と日本との親善を深める架け橋となる素質のある学生
- ③奨学期間終了後、ロータリー米山学友として活動する気持ちのある学生
- ④国籍割合に対する配慮(1ヶ国に偏らないように)。

「画面:世話クラブとカウンセラーの役割」

米山奨学生と会員との親睦を深めるよう努める。世界平和の架け橋として育成するためにロータリーを理解してもらう機会を与える。奨学生終了後も絆を繋ぐことが大切。確約書の意味を理解してもらう。

「画面:米山学友会の目的」

奨学期間終了後も学友同士及び学友とロータリアンとの交流を深め、ロータリーの目的とする国際交流と親善及び平和の創造と維持に貢献することを目的とします。

「画面:確約書」

配布資料の読み上げとご説明。世話クラブ・カウンセラーには、米山奨学生を将来の世界平和の架け橋に育成するために、確約書に誠実に行動してもらう指導が求められる。

「画面:寄付文化を成熟させましょう」

「画面:普通寄付:5,000円以上、特別寄付:20,000円以上、計:25,000円以上」

全会員からの特別寄付(個人・法人)を宜しくお願い致します。

ロータリーニュース

フィリピンに集まる世界からの救援支援

74フィリピン、ロータリー第3860地区のガバナーを務めるエドガー・チオンビアンさんも、台風30号を経験した一人でした。

3時間以上にもわたり暴風が吹き荒れ、家の屋根や壁が吹き飛ばされるかというほどでした。強風で飛んできた瓦礫の数々が家が崩壊する心配もありました。豪雨が収まると、チオンビアンさんは家族と一緒に外へ出て、被害状況を見て回りました。

「我が家はこれといって大きな破損はなく、幸運にも、被害は少ないほうでした」

しかし、海に近いフィリピン中央部の町は、壊滅的な被害を受けていました。史上最大級と言われた今回の台風で、沿岸部の町一帯が破壊され、死者は5,200人以上に上ります。家を失った人は440万人、被害総額は何十億ドルとも推定されています。

台風の通過後、世界中のロータリークラブからは、救援物資や義捐金が次々と寄せられてきました。

チオンビアンさんの地区には、特に被害の大きかったボホール、セブ、オルモックといった地域が含まれます。フィリピンのほかの地区やクラブと協力して、直ちに救援活動の調整にあたり、救命用具、食糧、水、衣料品、衣類を被災地に届ける準備を整えました。

地区は、最も助けを必要としている被災者に寄付を届けるため、災害救援基金も設置しました。まずは緊急援助に力を入れ、順次、長期的な復興に焦点を移していくとチオンビアンさんは話します。

「住民が、当面の困難を乗り越えて通常の生活にもどれるまでに、少なくとも1年はかかるでしょう。復興を目指す活動はその後です。再建には長い時間がかかるでしょう」

チオンビアンさんによると、ロータリー会員の多くも家を失い、クラブの例会場がなくなりました。

「しかし、自ら被災しながらも、ほかの被災者を助けようと休みなく救援に力を尽くしています。また世界中のロータリアンからも、サポートを受けています。本当に心強く感じます。感謝の気持ちでいっぱいです」

フィリピン台風被災者へのそのほかの救援活動：

- ・ウッドストック・オックスフォード・ロータリークラブ（カナダ、オンタリオ州）は 20,000 ドル以上の義捐金を集め、さらにカナダ政府から義捐金に上乗せする資金を確保しました。
- ・米国、テキサス州のノースウエスト・オースティン・ロータリークラブ会員が始めた「The Grind Earth Project」は、フィリピンのサンペドロ・サウス・ロータリークラブ、「WakaWaka Light」社と協力して、太陽光を利用したランプを被災地に提供しています。
- ・英国のチェルウッド・ブリッジ・ロータリークラブによる「World Water Works」は、500以上の救援ボックスを被災地に届けました。
- ・デンマークにある5つのロータリー地区は、救援活動のために60,000ドル以上を集めたほか、これから長期復興プロジェクトのための資金を集める計画です。
- ・ヨット愛好家のロータリアン親睦グループは、被災した地区に

30,000ドルを寄付しました。また、特に被害の大きな地域で、ヨットを使って救援物資の配達にも協力しました。

- ・シェルターボックスの救援チームは、被災した5つの島を訪れ、600近くのシェルターボックス・テントを届けました。これらは4,000世帯分にあたります。



ロータリーニュース

住むところを失った人びとに支援と希望を

2012年4月、長期的な大雨によってペルーの熱帯雨林で洪水が発生し、アマゾン川付近の地域社会に深刻な被害をもたらしました。私財を屋根の上に残したまま避難を余儀なくされた住民たちは、板の上や防水シートを被せただけの状況で過酷な生活を強いられました。

これらの人びとを救いたいと考えた地元のイキトス・ロータリークラブは、ロータリーのパートナー団体であるシェルターボックスと協力。テントや食料品以外の生活必需品が入ったボックスを被災住民に提供しました。

英国から支援に駆けつけたマルコム・シェードさんは、仲間のレイチェル・シンプキンさんと共に、シェルターボックス救援チームのメンバーとして被災地に赴き、アマゾン流域での被災状況を調べるために徹夜で活動しました。

「調査を進める中で、熱帯雨林に暮らしていた子どもたちと出会いました。この子たちは、この小さな村へと避難してきたんです。ここでは庁舎、教会、校舎などの建物が緊急シェルターとして使用されています」

シェルターボックスと協力したロータリー会員は、通訳や移動手段の手配など、裏方となってサポートにあたりました。こうした懸命な活動により、2012年5月までに、救援物資の詰まったボックス171箱を被災地の人びとに届けることができました。

ザ・ロータリアン誌

◎ 1月31日 ⇒ 1月27日に移動例会

次回《2月7日》の卓話予定

テーマ 「地域が支える福祉」

神奈川大学特別招聘教授 浅野 史郎 様
(紹介者 白鳥 厚夫 会員)